

船舶事故調査報告書

平成29年6月22日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成28年10月27日 13時47分ごろ
発生場所	岡山県玉野市 ^{いかだ} 筏島西方沖 京ノ上 ^{きょうのじょうろう} 鰐島灯台から真方位048° 2.1海里付近 (概位 北緯34° 30.7′ 東経134° 00.9′)
事故の概要	ヨット ^{デネブ} Denebは、北東進中、浅瀬に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成28年11月16日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	ヨット Deneb、6.6トン
船舶番号、船舶所有者等	295-45279岡山、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	センターボードに擦過傷
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 なし、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の末期
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、家族1人及び友人1人を乗せ、岡山県瀬戸内市所在のヨットハーバーに向け、筏島南西方沖を機走で自動操舵により北東進していた。</p> <p>船長は、腰を掛けた姿勢で見張りをを行い、眠気を感じたものの、左に10° 変針するボタンを押し、間もなく目的地に到着するので、居眠りをするのではないと思い、同じ姿勢で見張りを続けていたところ、いつしか居眠りに陥り、衝撃を感じて浅瀬に乗り揚げたことを知った。</p> <p>同乗者2人は、船室で仮眠中であった。</p> <p>船長は、左に10° 変針するボタンを押したつもりでいたが、左に1° 変針するボタンを押したかもしれないと本事故後に思った。</p>
分析	<p>本船は、船長が、居眠りに陥ったことから、浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>船長は、自動操舵として腰を掛けた姿勢で見張りを続けたことから、居眠りに陥った可能性があると考えられる。</p>
原因	本事故は、船長が、居眠りに陥ったため、本船が浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 操船中に眠気を感じた場合には、身体を動かしたりするなど、居眠りを防止する措置をとること。

	<ul style="list-style-type: none">・ 操船中に眠気を感じた場合は、同乗者に近くにいてもらうこと。・ 自動操舵で変針した場合、意図した針路となったことを確認すること。
--	--